



第30号
2018年1月



かつら魅力市 よさこい踊り～今年も楽しく過ごしましょう～

海山の 自然豊かなこのまらで
笑顔で暮らす 仲間とともに

- ### センターの動き
- 七月
 - 第2回会報編集委員会(18日)
 - 県連合会安全・適正就業推進員研修会(19日)
 - 市長・議長に支援要望活動(20日)
 - 八月
 - 県連合会総会(3日)
 - 第3回理事会(8日)
 - 第1回派遣事業運営協議会(31日)
 - 九月
 - 第4回理事会(19日)
 - 十月
 - 第2回総務・企画部会(3日)
 - 第1回事務局長会議(5日)
 - 千葉労働局・県連合会個別指導(17日)
 - 第3回会報編集委員会(20日)
 - 上総地域協議会(24日)
 - 県連合会理事会(31日)
 - 十一月
 - かつら魅力市参加(4日)
 - 派遣事業研修会(6日)
 - センター事業研修会(15日)
 - 親睦旅行(22日)
 - 安全パトロール(28日)
 - 第5回理事会(29日)
 - 県連合会理事会(30日)

会員募集

シルバーに入会して健康寿命を延ばそう！

シルバー人材センターでは、会員を募集しています。健康と生きがいのため少しでも働きたい方、新しい仲間を作りたい方など市内在住の六十歳以上の健康な方で男女を問いません。会員がなかなか増えませんので、知合いの方などに声をかけし、勧誘して頂き、一人でも多くのシルバー仲間を増やしましょう。

年 度	年度末会員数
15	210
16	189
17	166
18	152
19	151
20	153
21	164
22	159
23	153
24	147
25	150
26	153
27	151
28	152
29 (11月末)	148

入会者

～よろしくお願ひします～

(平成二十九年六月)

氏名	所属
勝又 源太郎	(勝浦一班)
中村 好夫	(勝浦一班)
渡辺 泰邦	(興津二班)
渡辺 良子	(興津二班)
米良 実	(興津二班)
鈴木 光秋	(上野一班)
岩鎌 章	(上野一班)
岩鎌 初江	(上野一班)
鈴木 和夫	(上野二班)
鈴木 弘子	(上野二班)
波辺 博夫	(上野三班)
岩瀬 勝己	(総野三班)

(敬称略)

編集後記

「会報あじさい」も号を重ね30号の節目を迎えました。創刊号発行から16年が経過する中、その時々のセンターの出来事や会員の身近な話題など数多く伝えてきました。名称と変わって「あじさい」は当時の編集委員が会員に募集し、その中から決定されました。そして、題字は創刊号以来、鈴木勉初代会長の筆によるものを続けて使用しています。これからも会員の情報ひろばとして、より一層親しまれる「会報あじさい」にして行きたいと思っておりますので、ご意見などお寄せください。

さて、今年は十二支の11番目戌年です。あてられた動物は犬で、安産、忠誠、財の象徴といわれています。

戌年(犬)にあやかり、この一年、会員の皆様には元気に過ごされ財が集まりますように、お身内に出産を控える方がいる会員の皆様には安産を併せてご祈念申し上げます。

「編集委員会一同」

委員長	副委員長	委員
積田 行雄	小関 力	松崎 己美
		野村 知里
		関 茂子
		加藤せつ子
		花ヶ崎 善一



チラシを配る浅野部会長



多くの人で賑わう魅力市会場

当センターも会長、総務・企画部会を中心に6名が参加し会員募集のチラシやポケットティッシュをいつも以上に配布しセンターのPRを図りました。

「かつうら魅力市」が11月4日(土)勝浦市芸術文化交流センターキヌステで開催されました。天候にも恵まれ、来場者で溢れんばかりの会場には、参加52団体のテントが並び人気のブースには長い行列ができていました。ご当地グルメでまちおこしの祭典B-1グランプリコーナーの「熱血!勝浦タンメン船団」を始め「横手やきそばサンライズ」、「山形芋煮カレーうどん寄合」、「北上コロッケまるっとLab」からは美味しいおいが漂い、よきこい踊りなどのステージパフォーマンスには多くの人が見入っていました。

安全を第一に頑張りたいと思っておりますので、これからもよろしくお

今後の抱負などお聞かせ下さい。

私も、常日頃から健康のために体を動かすことが大事だと思っていますので、体が動く限りこの仕事を続けて行きたいと考えています。

初仕事はどうでした。

初めての仕事は、6月下旬だったと思いますが、入会説明会の際に「一緒に仕事しませんか」と誘われ、その日のうちに作業をしました。地元の休耕田の草刈作業でしたが、普段から刈払機を使っていたのでスムーズに仕事ができました。

入会のきっかけを教えてください。

長年勤めていました運送会社を70歳になった2月に退職しました。それから3カ月程して、広報かつうら5月号に掲載されていました「シルバー人材センター会員募集中!」の記事を見まして、少しでも働きたいと思っていましたので、直ぐに入会手続きをしました。

新会員の初仕事

入会一年未満の会員に初めて携わった仕事の感想などを伺いました。今回は、平成29年6月入会の岩瀬勝己さんをお願いします。



草刈作業を行う岩瀬さん

利用者の声

今回は、勝浦駅前学生駐輪場の管理指導業務を担当センターに発注していただいている国際武道大学学生支援センターの齊藤聡さんに会員の仕事の様子など感想を伺いました。

国際武道大学は、1984年に開学し、今年で34年目を迎えることとなりました。現在約180名の学生が在籍しています。学生の多くは、勝浦市内にアパートを借り、原付バイク等で通学しています。その為、勝浦駅を利用する際、駐輪場に原付バイクが溢れてしまい、市民の皆様にご迷惑をお掛けすることが多々ありました。



バイクの指導を行う会員



武大のシンボル松前像と柔剣道場



戌

謹賀新年



会長 長男 高梨

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、穏やかに健康やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より当センターの運営につきましまして、ご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、日本経済は景気回復も緩やかに推移している一方で少子高齢化が一段と進展する中、昨春秋に行われました国政選挙の結果におきまます政権政党の掲げるマニフェストには、アベノミクスを加速させ、高齢者対策が盛り込まれた「働き方改革」の実行が謳われ、その実現に向けて、シルバー人材センターの果たす役割は大きいものと考えております。

とりわけ、勝浦市の65歳以上の高齢者は人口の4割を超え年々増え続けている反面、センターの会員は減少傾向にあり、大きな課題となっておりますが、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進により地域社会の活性化に貢献するというセンターの目標達成のためには、総力を結集し一丸となって事業を推進することが重要でございます。

これらを踏まえ、本年も基本理念であります「自主・自立、共働・共助」の下、会員の皆様の健康と安全を優先に地域から信頼されるセンターを目指し、今まで以上に積極的な事業運営に取り組みで参る所存でございますので、どうぞよろしくごお願い申し上げます。

結びに、当たり前の風景が当たり前に見られる喜び、当たり前前の生活が当たり前にできる幸せを感じ、この一年笑顔で健康に過ごせますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



市長 勝浦市 猿田 寿男

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は福祉施策をはじめ、市政全般にわたり格別のご理解とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

勝浦市シルバー人材センターにおきましては、活力ある高齢者社会を支える地域の中核的な組織と

して、就業を通じて高齢者の健康維持や社会参加に大いに寄与されるとともに、地域社会の活性化、福祉の向上にも貢献していただきまして感謝の意を表します。さて、近年では少子化や超高齢化社会の問題がクローズアップされ、地域における生活環境も大きく変化しております。特に人口減少に伴い、労働力人口も減少していくことが危惧されており、国では「ニッポン一億総活躍プラン」を策定し、環境の変化に合わせた新しい高齢者像として、これまで培ってきた知識や経験、能力を活かしたシルバー世代が「生涯現役」として活躍できる働き方が推奨されている中で、シルバー人材センターの果たす役割は益々重要なものになってくると考えております。

本市といたしましても、基本構想で定めた将来都市像「海と緑と人がともに歩むまち」元氣いっぱい「かつうら」の実現を目指してまいりますので皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

最後に、勝浦市シルバー人材センターの益々の発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。

をお願いしております。4月から1年間の土日・祝日・学生の利用が見込まれる日などに就業していただいております。

業務内容としましては、本学専用駐輪場管理・原付バイクの整理整頓・長期駐輪バイクの確認・報告など多岐の業務を熱心に行っております。

実施以降は、勝浦駅での駐輪状況が良くなり、大変感謝致しております。

寒さが厳しくなっておりますが、お体に気を付けて頂き、今後も駐輪場管理指導等よろしくお願いいたします。

派遣事業に伴う「技能講習会」が開催されます

県連合会が主催する技能講習会が昨年に続き1月24日、勝浦市役所大会議室を会場に開催されます。

今回は、日本赤十字社の指導員による「救急救命技能講習」が計画されており、怪我などの手当の基本や心肺蘇生法などを学びますから習得することにより、事故に遭遇したときなどの応急処置に役立つものとなります。



昨年の刈払機講習会



船内からスカイツリーを望む

お腹もすいて、ほど近い皇居のほとり楠公レストハウスで昼食を取り、食後広々とした外苑を散策したり、楠木正成像の大きさに圧倒されている会員もいました。



国会議事堂をバックに1枚

平均15%程度アップ

会員の皆様の働く意欲の向上を図るためなどの理由により、平成30年4月の作業分から配分金基準単価が値上げされることになりました。

配分金については、消費税に伴う改定を除くと平成21年4月から9年間引上げられていませんでした。この間に千葉県最低賃金の改定、厚労省及び全シ協から適正な配分金の単価設定が求められていることや近隣センターとの価格差などを考慮し、慎重に検討がなされた結果、第4回理事会において値上げすることが承認されました。

主な配分金の改定額は次のとおりです。

主な配分金の改定額

仕事の内容	配分金単価		備考
	現行	改定額	
除草(手作業)・清掃・一般事務など	740円	850円	110円引上げ
農作業・駐車場・施設管理など	771円	880円	109円引上げ
大工・塗装・左官・植木剪定	1,028円	1,200円	172円引上げ機械代含む
樹木伐採・除草(刈払機使用)	1,080円	1,200円	120円引上げ機械代含む
刈草・切枝処分(1台)	清掃センター搬入	1,234円	処分料別途
	会員自家処分	2,057円	処分料込み
障子張替・網戸張替・賞状書など	引上率概ね15%程度の改定額となります。		会員の状況により受託できない仕事があります。

※上記配分金に事務費10%を加算した額がお客様への請求額となります。

東京めぐり旅

国会議事堂の歴史と重みを実感

東京めぐり旅と題した親睦旅行一行を乗せたバスは、心配された天気も朝から晴れ渡った11月22日早朝、いつもより多い40名が参加し、勝浦を出発しました。

最初に旅のメインでもある国会議事堂に到着しました。季節柄修学旅行の児童生徒が大勢見学に訪れていました。

普段はテレビでしか見ない衆議院議場や天皇陛下の御休所など赤じゅうたんが敷かれた廊下伝いに見学し、大理石がふんだんに使われた柱や壁、そして素晴らしい室内装飾に立法院の歴史と威厳を感じました。

ひととおりの見学が終了し、多忙の中駆け付けて頂いたシルバー人材センター活性化議員連盟にも所属する地元森代議員と議事堂中央玄関をバックに記念写真を2枚3枚と撮影しました。

江戸と大都会が混ざり合った風景を後にして、次に向かったのが浅草の水上市バス乗り場。ここで船に乗り換え、日の出橋までの40分ほどゆっくり進む船内では、墨田川兩岸の流れる風情に視線を向ける会員やビール・焼酎を注文し盛り上がりつつある会員もいました。時間も経過し、最後の東京タワーでは、旅の土産に東京名物を何種類も買い求めている会員もいました。

旅程も順調に進み、後は帰るだけとなり、車中ではカラオケタイムが始まり楽しいひと時を過ごし、交通渋滞もなくあっという間に地元に着きました。

ただ、歌い手にとっては、着くのがちょっと早かったようです。こうして、和気合い合いのうちにバスの旅は終了しました。

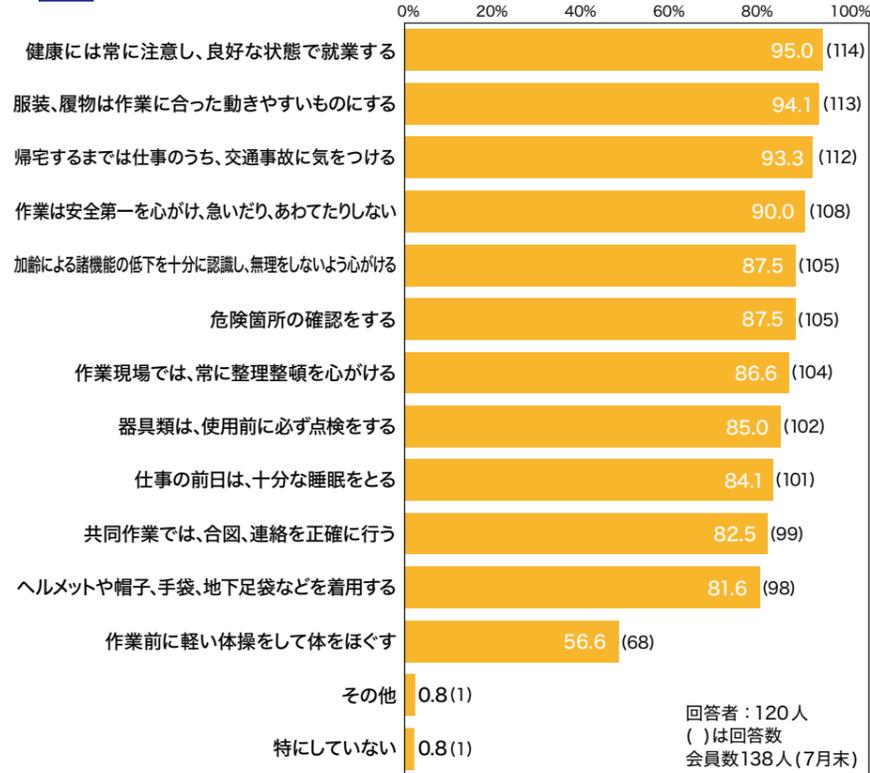
事務局だより

安全就業に関するアンケート集計結果

安全就業への関心が高いことが判明!

昨年8月に実施したアンケートについて、皆様のご協力によりまして120名の会員から回答がありました。回収率は87パーセントと高く安全就業への関心の高さが伺われます。

問 安全就業のために、必ず行っていることは何ですか(複数回答可)



※回答数には必要と思われることも含まれます。



安全就業のために、必ず行っていることは、「健康には常に注意し、良好な状態で就業する」、「服装、履物は作業に合った動きやすいものにする」、「帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつける」、「作業は安全第一を心がけ、急いんだり、あわてたりしない」の4項目が9割を超え、ほかの項目も8割超と高い割合となっています。ただし、「作業前に軽い体操をして体をほぐす」は、5割程と低くなっています。が、作業前の準備運動もケガ防止のため大事なことです。ぜひ取り入れるようにしましょう。

アンケート結果からは、仕事に対する安全意識は高いことが見て取れます。しかしながら、重篤事故等は全国的に急増している状況にありますので、引き続き安全就業を心がけるようにしましょう。

なお、アンケートに寄せられた「ヒヤリ・危ない」体験談などは「安全就業だより1月号」に掲載しましたので併せてご覧下さい。



安全指導を行う鈴木部会長



整然と草刈作業を進める会員

安全パトロールの実施

安全パトロールが11月28日、勝浦ダムで実施されました。作業点検のほか、鈴木安全・適正就業部会長から、総勢13人もの会員による作業であったことから、大人数による刈払機の取扱いやなど充分注意するよう安全指導を行いました。